



【インキュベーション施設】



インキュベーション施設 (Incubation Center for Venture Business) は、平成14年度補正予算により、自然エネルギー実験棟と環境防災実験棟の間に建設されました。

インキュベーション施設は、本学が果たすべき社会的役割の一つとして、本学の研究成果の還元を行うため、大学の研究成果や人的資源を活用したベンチャー企業を計画する者による起業化までの実用化研究、又はその設立後間もない株式公開前のベンチャー企業の実用化研究の支援を行う施設です。より多くの教員、学生及びベンチャー企業の方々の利用をお願いいたします。

施設の概要を、使用対象者及び使用料金等は次のとおりです。

- 施設の概要**
- 実験室 6室…各室共49㎡ 1階 機械・建設系2室、2階 物理系2室、3階 化学系2室
 - 研究室 9室…1階 23㎡1室、2階 23㎡1室、43㎡2室、3階 23㎡3室、21㎡2室
 - 共有室…リフレッシュルーム兼ミーティングルーム、各階1室(全3室)
 - 入退館…施設玄関においてカード式入退館システムにより管理します。
 - 設備…電話、LAN端子、冷暖房設備、電気、水道等

- 使用対象者**
- 豊橋技術科学大学の研究成果、人的資源を活用してベンチャー企業の起業化を目指す者又は起業後の実用化研究を目指す者で、次のいずれかの条件を満たしていること。(使用申請者が本学教員の場合は①、それ以外の者は②以降となります。)
- ①豊橋技術科学大学で創出された研究成果をもとに実用化研究を実施する豊橋技術科学大学の教職員及び学生
 - ②実用化研究を実施する民間等との共同研究に参画する民間等共同研究員
 - ③豊橋技術科学大学の研究成果を活用した事業を創業した個人で、創業後5年を経過していない者
 - ④豊橋技術科学大学の研究成果を活用した事業の創業により設立された中小企業者で、設立後5年を経過していない者
 - ⑤1年以内に創業を行おうとする個人で、かつ、本学の研究成果を活用した事業を行う予定を有し、その準備活動を行う者

施設管理経費 月額800円/㎡
(その他光熱水料等を実費負担いただけます。)

問い合わせ先 住所 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
 担当 国立大学法人豊橋技術科学大学
 総務部研究協力課研究センター係 近藤智美
 電話 0532-44-6574 FAX 0532-44-6547
 E-mail kencen@office.tut.ac.jp



index

2004.6 No.114

ニュース 02

キャンパス探訪⑨【インキュベーション施設】 03

特集 04

「生まれ変わる技科大」

- 豊橋技術科学大学の目指すもの ……西永 頌
- 法人化と大学における教育改革 ……松島宏幸
- 新たな研究への推進体制 ……小林俊郎
- 情報基盤の礎として ……亀頭直樹
- 目標評価室の運営ビジョン ……寺嶋一彦
- 技科大の今をビジブルに伝える ……新田恒雄
- 研究力向上を目指して ……米津宏雄
- 国際交流とは何か ……浜島昭二
- 地域社会における大学の役割 ……蒔田秀治
- 新時代の高専連携 ……青木伸一

連載記事 身近な技術と科学⑧ 16

インフルエンザウイルスは甘いのが好き?
～感染メカニズムの分子論的解明に向けて～

学生のページ 18

- 新入生歓迎 ○新入生雑感 ○海外研修報告
- クラブ紹介 ○実務訓練報告
- 学生による研究室紹介

退官教官より 30

新任教員紹介 32

TUTインドネシア事務所 36

新聞で報道された豊橋技術科学大学 37

技科大の研究 38